

【校風】 明るく 美しく 楽しく 逞しく

目指す学校像

- 生徒にとって  
笑顔があふれ、一人一人が輝く学校
- 教職員にとって  
自分の有用感が実感できる学校
- 保護者・地域にとって  
生徒や学校の様子がよく分かる学校

学校教育目標

○自己を高める生徒

今年度の重点目標

- 「向上心をもって、主体的に学び合う生徒」の育成  
→【実行します】  
・授業改善を進め、学力の向上を目指します！

子どもに育みたい力

- 自分の意見をしっかりもち、仲間に正しく伝えられる力
- 自ら進んで計画を立て、学習に向かう力
- 仲間と協力し、互いに高め学び合う力

生徒の実態・事実

- 明朗で素直である。
- 思いやりがある。
- 学年の分け隔てなく、協力して活動することができる。
- 学校のルールを守って生活することができる。
- 学力・体力の二極化が進んでいる。
- 自主的に活動するには至っていない。受動的な面が多い。
- 家庭学習に取り組む時間が少ない。

各種調査等からの  
実態・事実

- 基本的な生活習慣がついている。88%
- 困っている人を進んで助けている。88%
- 学校のルールや規則を守っている。94%
- テレビやゲームするときのルールを家で決めている。25%
- スマホを使用している時間が2時間以上。38%
- 平日、家庭学習の時間が2時間以上。13%

教職員自己評価より

- 生徒の健康面・安全面に配慮している。
- 生徒指導に関わり、組織的で一貫性のある指導に努めている。
- PDCA サイクルを意識して特色のある教育課程の実施に努めている。
- 常に学校経営の基本方針を意識して、学校課題に取り組んでいる。
- 生徒に将来や生き方について考えさせ、自己実現の育成に努めている。

組織力強化に向けて

- 重点目標の達成に向けた教育活動となっているのか確認し、改善点があればすぐに対応する。
- 分掌部会を充実させ、互いの業務の進捗状況を確認し、一体となって取組を進める。
- 授業交流を活発化させ、互いに高め合い、授業改善に取り組む体制をつくる。
- 教育委員会、保健福祉課、スクールカウンセラー、学校運営協議会等の関係機関との連携を強化し、迅速に情報を共有する仕組みをつくる。